

資 料 提 供
平成29年4月7日
里山振興室 小中
内線 4644
外線 (076)225-1648

ＪＩＣＡ草の根技術協力事業「イフガオ里山マイスター養成プログラム」 継続事業の採択について

平成26年から金沢大学が実施してきたフィリピン・イフガオ世界農業遺産の将来を担う人材を養成する「イフガオ里山マイスター養成プログラム」に関連するＪＩＣＡ事業が今年2月に終了することに伴い、県はＪＩＣＡへ事業継続の申請を行ってきたところ、今般、事業が採択された。

記

事業の概要

- 1 申請者 石川県
- 2 事業名 世界農業遺産「イフガオの棚田」と「能登の里山里海」の持続的発展のための地域連携構築事業
- 3 目的 フィリピン・イフガオ地域の発展に資する人材育成及びイフガオと能登両地域の実践者等の相互交流を通じて、両地域の発展を目指す。
- 4 実施者 イフガオ世界農業遺産支援協議会*
(実施責任者：金沢大学名誉教授 中村浩二)
- 5 実施期間 業務委託契約締結後3年間
- 6 主な内容 ① 能登からイフガオへの農林業の専門家派遣
② イフガオ里山マイスター養成プログラム受講生の研修受入れ
③ 両地域での取組事例発表会の開催
④ 両地域の実践者の相互技術交流
- 7 第1期事業との相違点

これまでのイフガオへの農林業の専門家派遣及びイフガオからの研修員受け入れに加え、両地域の実践者が相互に技術交流し、互いの世界農業遺産地域の活性化を図る。さらに、この取り組みを国内外に発信することで、世界農業遺産「能登の里山里海」の価値向上につなげる。

※イフガオ世界農業遺産支援協議会

会 長：珠洲市長 泉谷満寿裕

会 員：能登の世界農業遺産認定地域9市町、石川県立大学、金沢大学及び石川県等の代表者

活動内容：フィリピンのイフガオの地域に、金沢大学の有する人材育成のノウハウを移転し、イフガオにおける人材養成プログラムの構築を支援する